

麻疹(はしか)に関する注意喚起

令和元(2019)年12月

1 大洋州地域で、麻疹の感染例が多く報告されています。本年1月から12月18日までに、ニュージーランドで2172人、サモアで5424人(77人死亡)、トンガで440人、フィジーで21人の感染が確認されています。オーストラリアにおいては、10月までに、276人の感染が確認されており、以降漸増しているようです。

2 つきましては、オーストラリアに滞在する方、またはこれから渡航を予定されている方は、麻疹に感染するリスクがあることを認識し、麻疹の予防接種を2回受けていない方は、受けることを検討してください。

3 今後、場合によっては集団発生も危惧されるため、保健当局から発出される麻疹の感染症情報をご確認いただき、十分注意してください。

4 なお、マーシャル諸島およびソロモンにおいては、オーストラリア等の現在麻疹が流行している国からの入国者には、予防接種の証明が入国条件となっていますので、渡航を予定している方は事前にご確認ください。

5 併せて、外務省が発出している広域情報(海外における麻疹(はしか)・風疹に関する注意喚起(その3))もご確認ください。

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo_2019C132.html